



Lend a Hand

"手を貸そう"

2003-04年度 国際ロータリーテーマ
ジョンサンB・マジヤペRI会長

TANABE ROTARY

District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



4つのテスト (FOUR WAYTEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 津村寛司
 幹事 荷稻 實
 会報委員長 新藤整市

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「出初式」 撮影 鈴木和夫会員

司会者

津村寛司会長

ソング

真夜中のギター

ゲスト

セコム(株)和歌山支社
顧問中村喜代治様

ビジター

本日のプログラム 1/29

女優 後藤裕子様
「ミュージカルその後」

次回のプログラム 2/5

会員卓話
多屋睦夫会員
「調停委員あれこれ」

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総数	86名	23名	63名	
出席計算者	76名	16名	60名	78.94%
12月25日修正出席率 休会				

メイクアップ

- 1/14 榎本長 (東京羽田)
- 1/16 中松 (御坊)

お祝い

- 会員誕生日 1/23 高橋武
- 皆出席 三前剛(7年)

ニコニコ箱

セコムの中村様、本日卓話よろしくお願ひします。
 ……………村上、玉井洋
 本日、アコムで借りてセコムに入りました。…新井
 15日の新会員歓迎会、ありがとうございました。
 田辺ロータリーならではの洗礼を受けビックリしま
 した。……………岡田

お知らせ

会長報告

- ・1月は、ロータリー理解月間です。

幹事報告

- ・国際ソロプチミスト和歌山紀南様より「子どもに愛を-子育てサークルへ支援-」東京マンドリンアンサンブルチャリティコンサートのご案内が来ております。4月17日(土)19:00開演の部は、紀南文化会館大ホールで行なわれます。入場券は、2,000円

です。
 ・近隣クラブの週報が届いています。

委員会報告

親睦活動委員会

竹本

- ・以前よりご案内しておりました新年会を1月24日(土)午後6時30分より海鮮問屋丸長にて行ないます。大勢の御出席よろしくお願ひします。

ゴルフ同好会

長野

- ・御坊ロータリークラブ創立50周年記念親睦ゴルフ競技会開催のご案内が来ております。3月14日(日)午前9時スタート紀南カントリークラブにて行なわれます。申し込み締切は2月13日です。申し込み希望の方は、長野までお願ひします。

プログラム

『在日外国人犯罪の現状と自主防犯対策』



セコム(株)和歌山支社
顧問 中村喜代治様

只今ご紹介していただきましたセコムの中村でございます。昨年の春、和歌山県警を定年退職し、現在、和歌山支社で顧問をしております。どうかよろしくお願ひいたします。本日は、皆さんの前で、こうしてお話をすることが出来る機会を与えていただき、大変光栄に思っております。

また皆様方の中には、セコムのユーザーになってい

ただいている方も大勢いらっしゃるという風にお聞きしております。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

それでは「来日外国人犯罪の現状と自主防犯対策の必要性について」と題して、お話をさせていただきます。ところで、一般に「治安の指標」とも言われております「刑法犯罪」の認知件数ですが、過去7年間ずっと右肩上がりに増加を続けてきましたが、昨年末になって、ようやくこれに歯止めがかかったようです。

しかし、殺人・強盗・放火といった「凶悪犯罪」については、なお増加傾向が続いているということですので、やはり国内の治安情勢というのは依然として厳しいものがあると言わざるを得ないと思っております。中でも、気にかかるのは「来日外国人」による犯罪です。過去10年間の推移を見てみましても、検挙した件数、人員共に増加傾向にあります。

ところで昨年以來、新聞紙上を賑わしております例の「福岡・一家殺害事件」に見られますように、殺人・強盗といった凶悪犯罪から、万引きといった軽微な犯罪に至るまで、それこそ様々な犯罪に及んでいるのではないかと考えられます。

では、どこの国の者が我が国内で犯罪をよく起こしているのかと言いますと、それは中国人・トルコ人・ブラジル人それに韓国人です。

警察の統計で見ますと、彼らだけで、平成15年上半年における来日外国人検挙件数の7割以上を占めているのが現状です。またその中でも、ダントツに多いのが中国人で、全体の約4割以上を占めております。

それでは、どのような犯罪がここ近年増えてきているかと言いますと、それは、「強盗」と「窃盗」です。

我々にとって一番身近で、しかも危険性の高い「侵入強盗」と「侵入窃盗」に的を絞って、お話をさせていただきます。

まずはじめに、来日外国人による「侵入強盗」の検挙状況はどうなっているかと言いますと、平成5年には全国で62件の検挙であったのが14年になりますと、157件の検挙となっております。つまり9年前と比較しますと、約2.5倍も増加しています。

一方、空き巣、忍び込み、事務所荒らしといった侵入窃盗の方はと言いますと、平成5年には、全国で1,205件の検挙であったのが、14年になりますと、6,754件の検挙となっております。これは9年前と比較しますと、実に約5~6倍も増加している訳です。

たかが窃盗と言いましても、空き巣、忍び込みといった侵入窃盗の場合は、往々にして「居直り強盗」に発展する可能性が高いものですから侵入強盗に準じて、非常に危険性の高い犯罪ではなからうかと思われれます。

とにかく、来日外国人による「侵入強盗」や「侵入窃盗」は、年々増えてきているというのが現状です。

ところで12年ごろからは、日本人と中国人が組んだ強盗事件が急激に増えてきております。特に気にな

るのは、暴力団がこうした中国人らの犯罪組織と連携を強めていることです。過去の事例を見ましても、暴力団関係者が中国人らに対して、地元の資産家の情報を流したり、運転手役や見張り役を斡旋するといったケースも度々見られるところです。

どうして、彼らが日本人と組んで仕事をやるようになってきたかと言いますと、それは、日本人と一緒に下見をしていると、怪しまれることが少ない、警察の検問にもひっかかりにくいといったメリットがあるようです。とにかく日本人は、地理にも情報にも明るく、何かにつけて非常に便利であるといったことが、その理由であるようです。

ところで、彼らの犯行の手口を見てみますと、何点か共通しているところがあります。例えば、事件を打つ場合、日本人の場合ですと案外と「二人組み」でやるのが大半ですが、彼らの場合は、「三人組」もしくは「四人組」以上と、大勢のグループで事件を打つのが特徴です。その他、狙いを付けた資産家の家に押し入るといったことや、家人の手足や顔を粘着テープでぐるぐる巻きに縛り上げるといったこと、また金庫を開けさせるといった点が共通しているようです。中には、「カネ、カネ」とか「キンコ」、「ハヤク」とか「コロスゾ」といった片言の日本語を話す者もいるとのことです。和歌山県下でも、こうした凶悪な侵入強盗事件が実際に起こっているのかと言いますと、ここ2~3年内でも、4件の発生を見ております。

この地でも、昨年暮れには、高速道路が南部まで伸展してきておりますし、大変交通の便が良くなった反面、こうした犯罪も今後、この地にまで波及してくるのではないかと危惧されます。

外国人犯罪だけに限っていませんが、住宅に対する侵入手段を見てみますと、一般住宅に対する侵入手段の約4割がガラス破りによるものです。一方マンション形式の建物はと言いますと、約4割が錠を開けるかもしくは錠そのものを壊して侵入するといった手段が多いようです。錠を開けたり、錠を破ったりする手段のうちで、その約27%が特殊な工具をシリンダーに突っ込んで錠をあけるといった、例の「ピッキング」というものです。最近は新たな手口として、シリンダーカバーとドアの間に工具を差し込んで錠を操作して開けるといった「カム送り」といったものが出てきております。またドアに穴を開けるなどして、内側のつまみを操作して錠を開けるといった「サムターン回し」といった新種の手口も見られるところです。

現在侵入強盗や侵入窃盗の防止対策については、警察をはじめ関係機関や民間団体が委員会を設置したり、会議を開催したりして真剣に取り組んでいただいている訳ですが、要は、「自分の城は自分で守る」といった、「自主防犯対策」にあるのではないかと思います。

本日は、大変貴重な時間をいただき誠にありがとうございました。これを機会に今後ともよろしくお願い致します。